



平成18年度つくばマイスターフォーラム

2007

平成19年2月17日、筑波大学春日キャンパス
主　　催：　筑波大学現代GP
　　「新しい課題対応型体験学習プログラムの開発」運営委員会
共　　催：　つくば市
後　　援：　つくば市教育委員会
参加者数：　140名

平成18年度つくばマイスターフォーラムでは、講演会は宇都木久夫氏（つくば市経済部長）が、「つくば市の地産地消と食文化」と題して、飯泉省三氏（つくば市東京事務所副所長）が、「アートが息づくまち『つくば』を創造しよう」と題して行われ、筑波大学とつくば市が締結している地域振興協定に基づく実施事項の実績を踏まえて、更なる地域連携が必要であることが強調された。また、このような大学と行政の協働に、マイスター育成講座修了生の参加が期待された。

生物資源学類が実施している「食と緑のマイスター育成講座」と芸術専門学群が実施している「美と芸術のマイスター育成講座」について、講座開設の目的、講座の構成・内容、教育プログラムとの係わり、受講生に期待すること、受講申込みなどにについて説明がなされ、市民からの質疑に応じた。講座概要説明の後は展示会場で市民が参加を希望するコースブースの前で担当教職員と質疑応答が行われた。

展示会場では、「食と緑のマイスター育成講座」と「美と芸術のマイスター育成講座」の二つの展示室を設けて、それぞれ1年間かけて実施してきた成果が発表された。「食と緑のマイスター育成講座」を受講した市民は、各自が設定した課題別学習の成果をA0版のポスターに取りまとめて、来場した市民や学生の質問に応じて発表していた。また、チーズやアイスクリームを来場者に提供して、各コースの活動内容をPRした。「美と芸術のマイスター育成講座」を受講した市民および学生は1年間の成果として、油絵・日本画・陶芸・書・デザイン等の作品やレポートを展示・発表した。
















文部科学省現代的教育ニーズ取組
食と緑のマイスター育成講座
美と芸術のマイスター育成講座
GP 現代







